

草

笛

第40号

社会福祉法人 日本民生福祉協会
軽費老人ホーム 富士見が丘いこいの園

令和五年一月二十四日発行



明けましておめでとうございます。元旦は穏やかな晴天となりました。

屋上から仰いだ元日の富士山は、静謐な中に威厳のある姿を見せていました。新しい年を迎え、清々しい気持ちの中でこの一年がどのように過ぎていくかを思う時、今年の干支は兎。兎といえば軽やかに飛び跳ね、かわいい動物のイメージがあります。どのようなことが起きても、気持ちを軽やかに持てればよいと思います。

さて、昨年も新型コロナで明け、新型コロナで暮れたような一年でした。まさか第8波など考えもしなかった現実が目の前にあります。マスクが一年中、屋内外を問わず必須のものとなり、マスクを着けていないことが奇異に見えてしまうほど、常備品となり、日常の風景となってしまいました。

遠くない先に、マスクをしない生活、何処にでも出かけ、いつ誰とでも会える生活が戻ることを願ってやみません。他にも物価の上昇、少子化の進行と身近なことにも心配の種は多くあります。

それでも穏やかな新年を迎え、この一年が平穏に過ぎていくよう、皆様の力をお借りして努めていきたいと考えます。

今年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈りいたします。

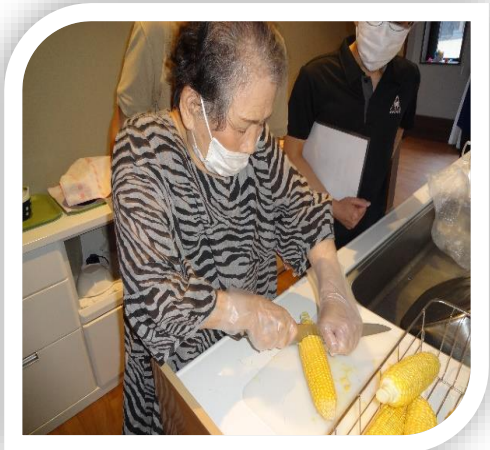


施設長 宮澤良男

「一年は短い」

光陰矢の如しといいますが、一年が過ぎるのは本当にあっという間だと思います。子供の頃は、一年が長かったのに、大人になると短くなるとうよく言いますが、子供の頃は、経験全てが目新しく、毎日の蓄積されていく記憶が鮮明なものだったのでしょ。

大人になると進級や夏休み、小学校から中学へといった大きな変化がなくなり、毎日の感動の度合いが少なくなってくるので、同じような一日としてあまり記憶に残らなくなるのかもしれない。高齢になられた利用者様は時間の流れをどのように感じられているのでしょうか。夕焼けや、季節の花の移り変わりや、食事の変化にも感動されている方がいます。子供の頃と同様に毎日が同じではなく、小さな感動の積み重ねで鮮明な一日が続いているのかもしれない。



「ソフトクリームおいしいよ」

「トウモロコシの下ごしらえ」

新型コロナへの対応について

三年にも亘るコロナ禍は、利用者様の生活スタイルを変えてしまいました。買い物外出の機会が減り、病院受診に限られたお出かけでは、商品選別の楽しみや活気ある街の空気とは違い、味気ないものがあります。

昨年、ご希望者を募り、買い物外出の機会を作りました。これから暖かな季節に向かい、外出への欲求も大きくなることと思います。できるだけ、外の空気に触れられる機会を作り、季節の移り変わりや道行く人たちに触れ、生活に広がりを持っていただきたいと思います。

コロナ第8波の広がりと共に、面会制限を続けておりますが、感染状況を見て、必ず、面会制限を緩和したいと考えておりますので、皆様楽しみにお待ちしております。

令和4年7月～令和5年1月 生活・行事の様子

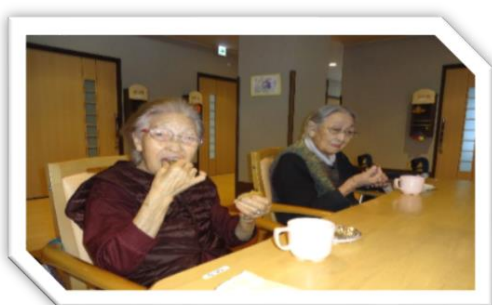
夏から新年にかけて、いろいろなことを楽しみました。



8月 柑「夏祭りにて」



桃 あずきアイス「暑い時は冷たいものもいいよね」



10月 柚「お茶会」

賀正



楓「やり方教えて」



杏「エプロンが似合います」



桜「美味しいのが出来ますね」



10月「秋のドライブ」
オラッチェにて



R5.1月「冬は焼き芋だね」

苦情の受付

投書他で、以下のご意見がありました。

(令和4年6月から令和4年12月まで)

苦情	8 件
要望	6 件
合計	14 件

苦情受付担当者 石橋菜穂子
苦情解決責任者 宮澤 良男

(要望) レクに必要な消耗品を取り寄せてほしい。
(回答) ユニットの状況に合わせて購入します。
(苦情) ローソン注文時、職員の言葉で注文しづらいことがある。
(回答) 気遣いなく注文できるよう気を付けます。
(要望) 旬の果物を出してほしい。
(回答) 梨とリンゴを各1回おやつとして提供した。
(要望) 外出したい。
(回答) 買い物外出や、ドライブで対応しました。
(苦情) 五千円札への両替を頼んだら、断られた。
(回答) この時は、五千円札の準備がなかったの
で、対応できませんでした。
(要望) 外出先を知られたくない。外出届の提出場
所を考えてほしい。
(回答) 直接事務所に出示していただいても結構で
す。
(苦情) 宅急便が届いたとき、手元に届いたのが翌
日だった。
(回答) 謝罪し、これからはすぐに対応することを
お約束する。 以上抜

<ショートステイ通信>

昨年はいこいのショートからもコロナ感染者を出すこととなりました。幸い、軽症で済み、ご家族の皆様の協力には感謝するばかりです。目に見えない感染は、いろんな経路で入ってきます。マスクの着用、手指の消毒、間隔を空けての食事と利用者様、職員一体となった感染対策を行っておりますが、それでもどこからか入り込んでしまう感染症の怖さを思い知りました。コロナに負けず、楽しくショートをご利用いただけるよう、職員一同、新年に気持ちを新たにしております。

コロナではなく他に楽しい話題をお届けできるよう、今年もいい年になるよう努めてまいります。



「サンタの帽子が似合います」



スクラッチアート
「工作楽しいよ」

<編集後記>

新春という言葉は、新年を表す言葉ですが、文字通り春の訪れのことをいいます。梅、啓蟄、桜と続き、日も長くなっていき、暖かな季節に変わる頃、私たちの気持ちも晴れやかに外に向かっていきたいものです。



発行元 社会福祉法人 日本民生福祉協会
軽費老人ホーム富士見が丘いこいの園
〒419-0121 静岡県田方郡函南町大竹20-1
電 話 055-944-6644
F A X 055-944-6714